

日本のお家芸 レスリング除外か

昨年開催された夏季ロンドン・オリンピックで、日本の選手団は多くの人に感動と感激を与えてくれた。レスリングは柔道、体操に次ぐメダル数を過去に獲得しており、まさしく日本のお家芸と言えるスポーツと断言できるだろう。

新聞を見て驚いた。国際オリンピック委員会（IOC）はレスリングを2020年の夏季大会から除外する可能性が高いと報じたのだ。頭に来たのはもちろん、またやりやがったと感じた。ここからは創造性豊かで寛容性があり、正しい判断能力を持つ私が書く、非難、批判、中傷、差別発言、区別発言、それらに基づく損害に対して一切の責を負うつもりはありませんので、事前にご案内させていただきます。では、なぜ、またやりやがったと感じたのか。

なぜ、レスリングが除外されるのか？ それは**ヨーロッパ人が勝てない**からだ。オリンピックはすべての人類のためのスポーツではなく、金髪・ブルーアイのヨーロッパ人のためのスポーツであるからだ。建前として、レスリングはヨーロッパでは人気がないので誰もテレビで

見ないからだと言う。

ではなぜ柔道は存続するのか？ 柔道は人口当たりの競技人口数が日本よりも多いフランスが強いからだ。ではテコンドーはなぜ永久種目に格上げになったのか。次期韓国大統領がフランス語を普通にしゃべるIOC会長に存続を求めて直訴したから？ 違うな、この韓国の国技であるテコンドーでは韓国選手は決して強くなく、ロンドンでも金メダルは一つのみだからだ。そうなる日本は日本人が圧倒的に強いからオリンピック競技にはならないのだろうと推測できる。野球・ソフトボールは新大陸が強く、ヨーロッパで盛んな国はイタリアぐらいなので、簡単に排除できたのだろう。一番ひどいのはバレーボールかもしれない。日本が東洋の魔女と呼ばれた1964年の東京大会から、2大会くらいまでは日本が強かったが、私たちが体育の時間ではポイントを取られるオーバーネットのプロックがOKとなり、タッチネットもプレー中はOKになった。そして背

Vol.59

許すことはあっても
忘れることはありませんから



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

Illustration by Kazushige Akita

の低い日本人に有利だったジャンプ・サーブさえも禁止の憂き目にあう。平泳ぎの潜水泳法、バタフライのドルフィンキック、背泳ぎのバサロの距離も日本選手がメダルを取ると禁止の方向になったのはなぜだ？ 北海道では冬もスポーツをする。スケート、スキー、その派生型と言えるジャンプなどのノルディック競技やホッケーは盛んである。そういえば25歳のころにホ

**オレにも
言わせる!**

**北海道長沼発
ヒール宮井の憎まれ口通信**

ツケー選手から「やらないか?」と誘われたことがあった。口説き文句が素晴らしかった。「女にモテるぞ♡」。ただ、かなりのラフプレーが許される競技なので前歯は無くなるけど、と言われた。かなり心が傾きかけたが、その時は硬式テニスをやっていたし、これ以上モテても体が持たないと考えたので申し出をお断りした記憶がある。

さて、これらの冬季競技もオリンピックとなると差別を乗り越えて區別競技と言っても差し支えないだろう。複合競技は距離とジャンプの合計点で競うのだが、日本人が優勝すると、体力勝負のヨーロッパ人に有利なように、距離の採点基準を重視するようになる。そしてジャンプも。72年の札幌冬季大会70m級で優勝した笠谷幸生選手は北海道人のヒーローであり、旅行代理店に勤めていた彼の姪っ子がかわいかった……のだが、長野冬季大会以降、身長に依じてスキートの板の長さが決まり、当然日本選手は不利で、成績はその後ガタ落ち。だが時は経ち、北海道・上川町出身、身長152cm、16歳の女子ジャンパー高梨沙羅さんは小さな体で優勝常連組になった。よく見ると女子ホッケー、女子サッカー、女子柔道も同じで、明らかに日本女子の強さが目立つ。IOCも女性差別

はあからさまにできないので、今後どのような区別主義をするのか興味があるところだ。と言う事実を、ほとんどの一般のヨーロッパ人は知らない。なぜって、知らされていないからだ。長沼に住む北海道大学で教鞭をとった金髪・ブルーアイのドイツ人もオリンピックはフェアに行なわれていると信じていたと言うくらいなのだから、ヨーロッパ人の優位性を示したいIOCとヨーロッパ・メディアとの結託はたいしたものだ。

ではヨーロッパ人って何人? ここからは私の推測になるが、このようなヒガミ根性を助長させるのはIOC本部があるスイス人ではなく、フランス人以外に考えられない。巷ではフランスは歴史があつて素晴らしいとなつていますが、私に言わせればフランスのどこかが素晴らしいのだから? パリの街並みはそれなりに興味をそそるが、目線を道路まで下げれば犬の糞だらけである。つまり汚い国の代表であると自慢しているのだ。フランス国旗にある自由、平等、博愛を、わがまま、差別、変態と直した方が良いのではないかと提案したい。

冬季オリンピックは器具との戦いでもある。ボブスレー、リュージュ、スケルトン、スキートの板など本来で

あればハイテク日本のお家芸であるべきなのに日本製はほとんどなく、ミズノ、ヤマハは撤退して家内工業製のみになつてしまった。もしこれらの競技で日本のハイテク器具の優秀性が評価されると、間違いなくルールが改正されるだろう。で、米国はどうなんだ? と聞かされてくる。もちろん米国も差別はたっぷりあるが、やり方がうまい。その辺のことはまたの機会にしよう。

公募でありながら 生産者への募集案内なし

さて、今回はスポーツの話をしたいのだろうか? いいえ違います。日本農業の話です。

以前、何とかと言う事業があり、
「公募で行なう」と農水省のホームページに記載があつたが、現実には推薦で行なわれた。JA、町、支庁、道庁農政部の渡辺稔之氏や関係協議会に疑問を呈した私に、問題なしとの回答、そして農水省からは文書で「推薦は公募の一つである」と驚愕の回答がきたのである。この事業そのものは、今まで機械や施設に対する補助金を受けた対象者から、優秀な人を褒め称える素晴らしいものなのだが、どこかで誰かが、主語、動詞、目的語を変えてしまった。まったくこの事業を考えた農水職員に

失礼の極みである。

8万円/haを3年間、中には数千万円の現ナマを懐に入れるのだから、フランス国旗と同等と言うことか。で、私と何が関係するか? この事業は公募でありながら、一切、一般生産者には案内がなかったのである(地域最高責任者の回答)。案内があつたのは推薦を受けた3名のみである。で、やった内容は麦と大豆の交互作? って、私が20年前からやっていた事じゃないの? 私はこの事業を知っていたので、自薦し、広く公募すべきだと進言したが無視された。

あっそ、そんなに私のことを嫌いなのか? 私は嫌っていませんよ、それどころかあなた達のことを、愛すべき対象者とさえ思っているのです。将来、資金を貸してくれないと困りますから、でも間違つても裏切り行為はやめましょうね。それと将来、PPPであなた達をイジめるのは私ではないし、責任転嫁されても困りますから、今のうちに身の振り方を考えておくのも護身として必要かも。

私はあなた達のやったことを許すことはあつても、けつして忘れることはありませんから(パールハーバー、アリソン記念館標語より)